

社会貢献活動（地域ボランティア活動）実施報告

（一社）名古屋林業土木協会

活動内容	「白木峰」登山道の整備作業に取り組みました
------	-----------------------

- 1 実施年月日 令和8年9月10日
- 2 実施場所 岐阜県飛騨市万波国有林
飛騨森林管理署
万波国有林

- 3 参加会員数
- 会員企業人数 会員企業5社、12名
- その他人数
- 計 12名

4 活動内容

名古屋林業土木協会古川支部（杉浦 仁司 支部長、会員数5社）では、令和8年9月10日（木）、会員5社12名が、富山県と岐阜県の県境に位置する「白木峰」の登山道につながる林道の除草・整備作業をフォレスト・サポーターズ活動の一環として実施しました。

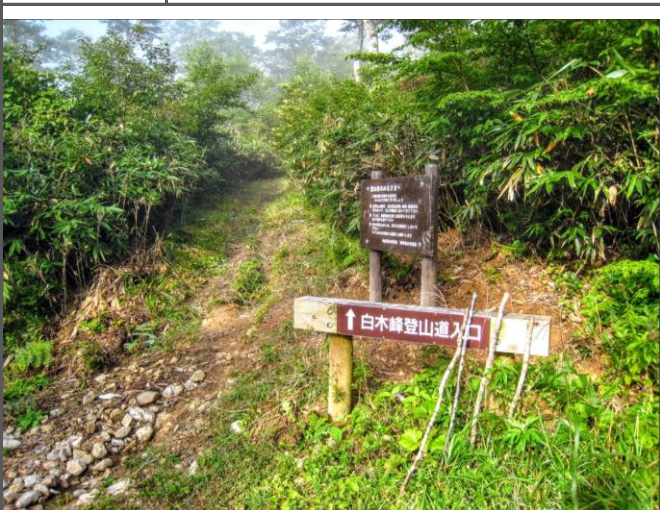
除草作業をした林道は、岐阜県飛騨市宮川町の飛騨森林管理署（高山市：辻井正徳署長）が管理する万波林道で、白木峰登山道へ通じるため登山者が安全、安心して登ることができるよう毎年実施しており今年で5年目の取り組みです。

白木峰（しらきみね：標高1,596m）は、富山県富山市と岐阜県飛騨市の県境に位置し、山頂に広大な草原と様々な高山植物がみられるのが特徴です。白木峰を中心に富山市と南砺市にまたがって「白木水無県立自然公園」に指定され、日本三百名山、ぎふ百山にも選定されています。

富山県側より山頂近くの標高1,300m付近まで車道が伸びており、車道終点から約40分で山頂に立てることから多くの登山客は富山県側から登頂していました。しかし、2019年10月の台風豪雨による土砂崩れが発生し通行止めの期間もあったことにより、近年は岐阜県側からの登山者も増加しています。

岐阜県側からは、飛騨市宮川町の万波川上流部の小坂谷からの登山コース（およそ3時間）がありますが、笹藪が繁茂し危険箇所も不明なため登山者の遭難事故が懸念されています。飛騨市は安全な登山をしていただくためにも、登山道の再整備と周辺環境の継続的な保全が課題となっていました。古川支部では少しでも安全安心で快適な登山ができるよう社会貢献活動として毎年整備作業を実施しています。

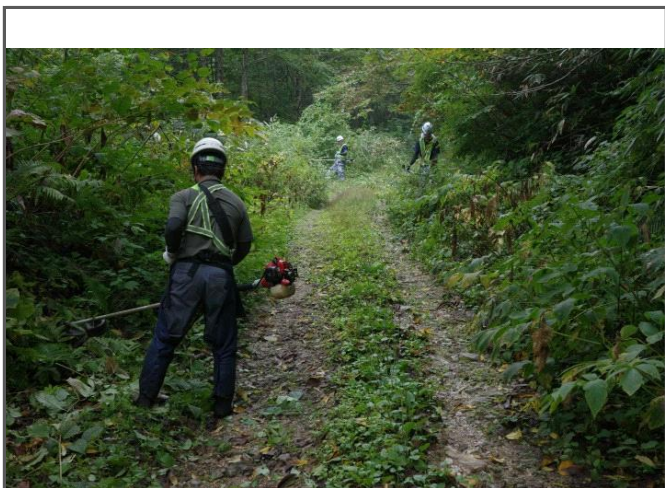
活動写真



「白木峰」登山道入り口



登山道への除草作業



登山道への除草作業



除草作業完了



ボランティア作業に取り組まれた古川支部の皆さん